



第23回わんぱく相撲入間大会

いるま 市議会 だより

No.179

平成29年6月
定例会号
2017年8月1日発行

6月定例会

条例など30議案を審議	.. .	2P
定例会議決結果	.. .	3P
15名が一般質問	.. .	4P
市民の声、ミニ情報	.. .	12P



入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

平成29年度入間市 一般会計補正予算 (第1号)など 30議案を審議

平成29年第2回定例会は、5月31日から6月20日までの21日間開催され、提出議案30件について審議されました。
内容としては、人事案件21件、条例3件、一般議案4件、平成29年度補正予算2件であり、すべての議案が原案のとおり可決されました。

条例

一部改正条例

議案第68号	入間市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第69号	入間市税条例及び入間市都市計画税条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第70号	入間市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決

入間市農業委員会委員

池谷昭二氏 加藤敏夫氏
加藤博司氏 久保田勝氏
齋木雅美氏 友野秀一氏
中島敦夫氏 中村亨氏
細淵孔子氏 増田恒治氏
宮岡幸江氏 吉川光彦氏

入間市教育委員会委員

高山茂氏

入間市固定資産評価審査委員会委員

滝澤一郎氏
横田広太郎氏

人権擁護委員候補者

中沢ますみ氏
中島久美子氏
市村悌偉氏
岡内緑氏
逸見リカ氏

入間市公平委員会委員

本橋之彦氏

人事案件

平成29年6月定例会 議決結果

全会一致の議案

議案 番号	議 案 名
47	入間市固定資産評価審査委員会委員の選任について
48	入間市固定資産評価審査委員会委員の選任について
49	人権擁護委員候補者の推薦について
50	人権擁護委員候補者の推薦について
51	人権擁護委員候補者の推薦について
52	人権擁護委員候補者の推薦について
53	人権擁護委員候補者の推薦について
54	入間市公平委員会委員の選任について
55	入間市農業委員会委員の任命について
56	入間市農業委員会委員の任命について
57	入間市農業委員会委員の任命について
58	入間市農業委員会委員の任命について
59	入間市農業委員会委員の任命について
60	入間市農業委員会委員の任命について
61	入間市農業委員会委員の任命について
62	入間市農業委員会委員の任命について
63	入間市農業委員会委員の任命について
64	入間市農業委員会委員の任命について
65	入間市農業委員会委員の任命について
66	入間市農業委員会委員の任命について
67	入間市教育委員会委員の任命について
68	入間市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
69	入間市税条例及び入間市都市計画税条例の一部を改正する条例
70	入間市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
71	市道路線の廃止について
72	市道路線の認定について
73	中橋歩道拡幅整備工事請負変更契約の締結について
74	町の区域を新たに画することについて
75	平成29年度入間市一般会計補正予算（第1号）
76	平成29年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

市長
提
出
議
案

■ 議会人事 ■

基地対策特別委員会、公共施設最適化検討特別委員会が設置され、新たに特別委員が選出されました。

基地対策特別委員会

◎紺野 博哉 ○末次 正

安道 佳子 佐藤 匡

向口 文恵 長谷川 渉

松本 義明 坂本 優子

宮岡 治郎

公共施設最適化検討特別委員会

◎金子 俊雄 ○内村 忠久

小出 亘 吉澤 かつら

古仲 リカ 細田 智也

金澤 秀信 永澤 美恵子

小島 清人

◎は委員長 ○は副委員長

■ 議員表彰 ■

全国・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、各議長会の表彰規定に基づき、本市議会より次の方が表彰を受けました。

在職20年以上

宮岡 治郎 議員

在職15年以上

野口 哲次 議員

議長職2年以上

金子 俊雄 議員

(埼玉県市議会議長会表彰)

一般質問

Question 1 Answer

6月定例会の一般質問は、質問者15名により6月12・13・14日の3日間行われました。
※質問・答弁内容は質問者本人が要約したものです。

市民参加で市庁舎改築・学童保育

小出 亘議員

Question 1

質問

市庁舎A・B棟を新築し市民会館と中央公民館を複合化する82億円以上の計画は、市民の参加が全くないまま決定された。他市では、計画づくりの最初から、公募などにより市民が参加している例がある。市民の財産である公共施設の計画づくりに市民の参加を保証すべきでは。市長 検討した結果、現在の方向が最良であり、早急な対応が必要のため市民参加での計画づくりはできなかったが丁寧に説明していく。

質問

学童保育室の待機児童が87人、定員超過の学童保育が19施設中7に上る。施設の整備・改修のスピードを早める必要があるのでは。

市長 現在も進めているができる限り早くしたい。

質問

学童保育支援員が配置数113人に対して23人も不足している。共産党が議会で要望し一律5千円の賃金アップが行われたが不十分である。非正規を正規にする必要がある。

質問

文化創造アトリエから図書館西武分館に通じる市道47号線のやかん坂部分は北側に歩道がなく大変危険である。以前の質問で点検・調査を行い今後の整備と改善を行うとのことだった。点検の結果は。

市長

募集しているがなかなか集まらない現実があるので他市の例など研究したい。

市長

「危険であり、早期に措置を講ずべき」との結果であったが、用地買収が必要であり、関係者の協力を得る必要がある。



仏子の危険なやかん坂

認可保育所の増設で待機児ゼロへ

古澤 かつら議員

質問 入間市で昨年4月に保育施設に入所できなかった児童は77人だった。①今年の入所未定児童数は。②待機児童解消は保育の質を確保しながら行つべき。保護者は認可保育所への入所を希望している。待機児童解消は、認可保育所の増設などで対応すべきと考えるが市の見解は。

市長 ①4月1日現在の入所未定児童は125人。②子ども・子育て支援事業計画の見直しをしていく。認可保育所については、民間事業者と調整し増築等に対応していきたい。

質問 公立保育所は保護者ニーズにあわせた対応を検討すべき。①老朽化した施設は、統廃合ではなく早急に建て替えを行うべき。②開所時間延長と低年齢児の受け入れ拡充を。
市長 ①公共施設等総合管理計画にあるように、統廃合が基本的な考え方である。②公立保育所の役割りとともに研究・検討していく。

質問 公共施設等総合管理計画によって学校や公民館などの統廃合が計画されている。公共施設は住民の

財産であり、地域コミュニティを形成する重要な役割りを果たしている。市の統廃合計画ありきではなく、時間をかけて議論し、住民が出した結論を尊重すべきと考えるが見解は。
市長 住民要望を全て反映するのは難しい。行政として選択していく。

質問 春日町いなげや前に歩行者用信号機の設置を要望できないか。
市民生活部長 自治会から市に要請があれば、県に要望していく。

公共施設等総合管理計画（統廃合計画）	
公民館	13施設から9施設に統廃合 藤沢と藤の台をひとつ、二本木と宮寺をひとつ 扇町屋と久保稻荷をひとつ、高倉と黒須をひとつ
小学校	16校から9校に統廃合 東金子と新久をひとつ、宮寺と狭山をひとつ 黒須と高倉をひとつ、西武と仏子をひとつ 豊岡と東町をひとつ、藤沢と藤沢北をひとつ 藤沢東と藤沢南をひとつ
保育所	11施設から6施設に統廃合 豊岡・高倉・黒須をひとつ、宮寺と二本木をひとつ 金子第1と金子第2をひとつ、藤沢と藤沢第2をひとつ

感震ブレイカー・無電柱化の推進

坂本 優子議員

質問 大規模地震発生時の電気火災防止に感震ブレイカーは有効か。

危機管理監 阪神淡路大震災の出火原因の内61%が電気によるものである。感震ブレイカーの設置は電気火災被害拡大防止に有効である。

質問 感震ブレイカーの市民に向けた普及計画は。

危機管理監 感震ブレイカーの設置は重要なことと認識している。今後、広報している防災コラム、入間ケーブルテレビの「みんなで考える入間の防災コーナー」等、各種啓発機会を通じて通電火災の危険性と感震ブレイカーの有効性の周知を図る。

質問 昨年、無電柱化に関する法律が成立。無電柱化及び電線の地中化により、歩道が広く使え、安全な通行空間の確保が可能となる。又、災害時に電線が切断し、緊急車両や物資輸送車の通行の妨げを防ぐことも可能となる。市では市民生活の安心の為、推進計画はあるか。

都市整備部長 無電柱化の推進にあたり、現状では多額の費用が必要

となる。当市の財源を考慮すると現時点において無電柱化の推進計画を策定する考えはない。

質問 当市の玄関口である入間市駅南口の広告塔などの補修計画は。

都市整備部長 入間市からのお知らせ掲示板・時計台の茶娘の看板は経年劣化しており、修繕を検討する。
企画部長・市民生活部長 北方領土及び平和都市宣言の広告塔の修繕は今後検討する。



錆がでていた入間市駅南口時計台茶娘の看板

Question 4

つるぎの再編について

野口 哲次議員

質問 昨年12月に、市の公共交通の基本となる計画が策定された。その計画では、現在のていーろーどを、今のバスが走る3本のルートとワゴン車を走らせる3地域に再整理した。これにより、交通空白地域の解消、使いやすい路線、ルートの時間短縮を実現できる。現在、平成30年1月の実証運行に向けて、路線・ダイヤ等の検討がなされているとのことだが、運行回数の見直しは。

都市整備部長 ていーろーどの3本の路線ではそれぞれ8便から9便になり、ワゴン車を走らせる3地域の路線では10便が15便となる。

質問 年間の運行経費とそれを賄う料金収入と市費負担は。

都市整備部長 運行経費総額は9千万円、料金収入総額は1千8百万円、市の負担は7千2百万円と見込んでいる。市の負担は増やすことなく便利な地域公共交通を実現できる。

質問 市では財政状況も踏まえた持続可能なまちづくりに向けて、公共施設の最適化に取り組んでいる。



ていーろーど停留所にて

平成29年度には、30年を期間とする公共施設マネジメント事業計画（注）が策定される。市民参加の手法は。
総務部長 今年の6月から11月にかけて、各地区10名程度の地区代表参加を得て4回程度懇談会を開く。その他、地区説明会、市民説明会、パブリックコメントを予定している。（注）13の公民館を9の地区センターにするなどの再整備や施設の維持管理の取組方向をまとめたもの。

Question 5

地域コミュニティ・消防団・防災

内村 忠久議員

質問 コミュニティ活動の充実に ついて。自治会活動支援の取組は。

市民生活部長 ボランティア組織「いるまし元気隊」による自治会活動支援を開始する。

質問 各種団体・行政などの連携の現状と取組について。

市長 地区センター設置検討段階に合わせて「地域会議」「専従職員」について検討していく。

質問 消防団支援について。①加入促進策及び資格取得支援について。②女性消防団員拡充の取組について。

市長 ①自動車免許区分変更により運転できない人が出てくる事も加味し、どのような支援策が可能か検討していきたい。②詰所の確保や資機材整備について具体的な議論を進めていきたい。

質問 防災体制の充実について。①自主防災会の育成について。②避難所戸別指定を行わない理由。③防災マップ・ハザードマップの見直しについて。

危機管理監 ①区・自治会を基盤とする自主防災会の充実を支援していく。②戸別指定の有用性について研究していきたい。③本年秋頃に全戸配布を目指し改定作業を行っている。

質問 大規模災害における都市間連携について。

市長 首都直下地震緊急対策区域のある多くの自治体と相互応援協定を結ぶことに努力したい。



防災訓練（左）と消防団操法大会に向けての夜間訓練（右）

不老川の集中豪雨対策について

佐藤 匡議員

質問 今後想定される最悪の降雨量に基づいて治水計画を立てることについての見解を求める。

市長 今後の整備において計画降雨量の見直しの予定はない。

質問 不老川を入間市の貴重な宝として整備するという方向性がすでにあると認識しているものである。工事全体が生態系に与える影響はどうか。

市長 川の生態系に配慮した整備について埼玉県飯能県土整備事務所に今後要望を行っていく。

質問 実際にゲリラ豪雨が降りだしてからは現場の人からの情報に頼るほかなく、洪水時の不老川の正確な情報を捉えるためのカメラの設置などは可能か。

市長 情報を把握するための手段としては必要性は認められる。個人情報の問題も含め研究していく。

質問 住宅リフォーム助成制度は制度を使いやすいものとしつつ、需要を見込みながら変えていくことに

よって、入間市にとってかけがえのない制度となりうるかと確信するが見解は。

市長 若い世代、特に子育て世代に対し移住定住促進策になるのであれば人口減少対策の一環として引き続き調査研究していきたい。

質問 宮寺テニスコート人工芝の張替えを。

健康推進部長 市の財政状況など総合的に考慮し判断をしたい。



不老川沿いの文政年間頃の石碑

子育て総合的支援体制・選挙

古仲 リカ議員

質問 子育て総合的支援体制について。①産前・産後ケアの取り組み、事業内容は。②開始から現在までの反響と今後の取り組みについて。

子育て支援部長 ①妊娠・出産・子育て支援のワンストップ拠点、子育て世代包括支援センター「いるていーきつず」を開設。ヘルパー派遣、訪問型、宿泊型ケア事業を提供。保健師・助産師を配置し連携体制を整備。②市民にとって利便性の高い産前産後ケアの実施に取り組み、子育て支援の環境整備に努め、多くの市民への周知にも力を入れていく。

質問 男女共同参画社会について①子育て支援としてどのような取り組みを考え実施しているのか。②庁内におけるワーク・ライフ・バランスの取り組み状況。

市民生活部長 ①毎年男性の家事・育児等の参画に対する啓発事業を実施。継続的に実施が必要と考える。

総務部長 ②休暇制度の整備、長時間勤務の見直しによる余暇時間の確保、研修等による職員の意識改革に取り組んでいる。

質問 「元氣な子どもが育つまち」を目指す入間市の今後の考えは。

市長 子育てしやすい環境整備、若い世代に選択され、希望を実現できる街づくりの推進を目指す。

質問 選挙の投票率の向上に向けて。

選挙管理委員会委員長 ポスター・コンクール実施、選挙備品の貸出し、出前講座等実施、HPから周知を図る。



イルミン2階男女共同参画推進センター（左）入間市役所2階いるていーきつずとよおか（右）

Question 8

防災・道路・教育行政

長谷川 渉議員

質問 大震災が起きた場合、道路施設倒壊により支援物資搬入路がふさがれた場合の対応について。

危機管理監 関係機関と連携のもと道路の寸断状況を把握し、人間市災害対策協会の協力を得て適切なルートを確認していく。

質問 消防団車庫の老朽化が進み大震災時に倒壊した場合、消防団活動の低下につながる。消防団車庫耐震計画について。

危機管理監 今後、地域の防災活動の拠点として適切な配置を含め消防団と意見交換を行い進めていく。

質問 一部地域で側溝蓋が無く歩行者や自転車の通行に危険である。側溝蓋整備を行うべきと考える。

都市整備部長 宮寺・二本木・金子地区は未整備が多く、今後の対応として地元自治会等からの要望を受け必要性や施工可能かを考慮し予算の範囲内で対応する。

質問 市道D472号線（宮寺マクドナルド東側）取得地に歩行者・自転車



市道D472号線（宮寺マクドナルド東側）

車の安全確保のための歩道設置と、雑草対応について。

都市整備部長 歩行者・自転車用の通路設置は現状を確認して検討。雑草は年2回程度草刈りを実施しているが、今後は適宜実施していく。

質問 小中学校体育館トイレは男女共用であり子どもや大人が使用に支障がある。男女別のトイレ設置を。
教育部長 男女共用トイレが7小学校あり今後、短期的整備計画を立て予算が付き次第、整備をしていく。

Question 9

小学校周辺に防犯カメラ設置を

金澤 秀信議員

質問 一昨年に提案し、昨年4月より導入して頂けた入札制度改革の低入札価格調査制度の節約効果は。

総務部長 年間約6千万円の節減。

質問 保護者からの要望の多い学童保育事業の運営方法の改善①夏季休暇などの昼食は仕出し弁当の選択制導入を②夏季休暇などの学童保育室の開始時間の繰り上げを。

市長 ①保護者緊急アンケートでは70%の要望もあることから課題を整理して前向きに検討する②支援員の確保など総合的に研究する。

質問 小中学校とも保護者の立場に立った入学準備金の前倒し支給を。
市長 小中学校入学予定者共に、購入時期に間に合うよう検討する。

質問 駅前や小学校周辺に防犯カメラの設置で、児童や高齢者にも安心安全な街づくりと防犯強化を。

市長 まずは駅前の設置から検討するが、小学校通学路にも1校10台くらいは設置してもいいと考える。関係法令の検討や地域住民の理解を

得ながら検討する。

質問 庁用車へのドライブレコーダー搭載計画が年間5台では10年以上掛かり遅すぎる。計画前倒しを。

市長 購入単価の工夫を検討する。

質問 昨年8月、東町公民館南側の駐車場周辺は冠水し多大な被害が発生した。避難所なのに問題ではないか。緊急の雨水対策を要望する。

都市整備部長 地下の雨水管に流入し易くするためのグレーチングや横断側溝を本年8月末までに工事。



緊急雨水対策が望まれる東町公民館駐車場周辺

市民説明会・就学援助・交通対策

安道 佳子議員

質問 東町地区留保地の土壌調査と植生調査の結果は。

市長 土壌汚染対策法に基づき調査で86カ所から鉛汚染が検出。汚染土壌は撤去される。植生調査は博物館が実施した。県のデータブックに掲載の貴重な植物等約30種については、博物館敷地内に移植した。

質問 造成工事前に市民説明会の実施を防衛省に要請すべき。

市長 説明会は8月までに実施の予定。誰でも自由に参加できる。

質問 自衛隊病院の診療内容と教育棟の役割は何か。

市長 自衛隊病院は職域病院。産科・婦人科は無い。一般診療は受け付けない。教育棟では、救護隊員や准看護師等の養成を行う。

質問 国の就学援助制度の改善を受け、小学校でも入学準備金の前倒し支給を実施して支援を。

教育長 入学準備金が増額されたことを受け、入間市も国に従い支援金を増額した。国の改善を受け、中

学校に続いて、小学校でも入学支援金の前倒し支給を検討したい。

質問 富士見通り線から扇町屋団地を抜け、かえで通りまでの交通安全対策として①交差点に信号機の設置を②道路照明灯の設置を③道路の進入口に標識等の設置を。

市民生活部長 信号機ではない他の方法で交差点の安全対策を検討する。

都市整備部長 扇台区画整理地内交差点に道路照明灯の設置を検討する。進入口は目印等の対応済み。



扇町屋団地そばの危険な交差点

茶畑と周辺施設活用で観光施策を

末次 正議員

質問 ①カーナビからの急ブレーキ操作情報、②警察が提供する事故多発エリア情報、③市民が投稿する危険個所の3つを集約、地図上に視覚化して表示するセーフティマップを通学路の安全対策の道具として活用すべきでは。

市民生活部長 マップの閲覧はスマホ等で誰でも無料で閲覧可能。安全対策の情報源として活用する。

教育長 各学校にマップの情報を提供し、その活用を図る。

質問 私費会計となっている小学校給食費は税金と同様に公会計とすべき。公会計化実現への課題は。

教育長 収納率の低下が懸念される。システム導入に伴うコストの発生。市と学校で発生する事務。小中学校の給食に係る大量のデータ処理が必要。

質問 市の茶畑の景観を観光資源とし、茶業者、大学跡地に建設予定の工場の協力を得て、市の魅力アップと誘客を図るべきでは。

環境経済部長 茶業者の協力、工

場見学コースの設置など積極的に働きかける。

質問 茶畑の散策にはポタリングが最適。コースを設置する計画は。

環境経済部長 コースの選定や環境整備を進めている。

質問 アリットは、ハード面は整備されているが、展示内容や見せ方に工夫が必要。今後の展開は。

市長 展示内容は見直す。プロシエクシオンマッピング等を検討する。



観光資源として期待される茶畑の景観

Question 12

産後うつ病・運転免許自主返納策

向口 文恵議員

質問 これまで提案してきた子育て世代包括支援センターが、4月より本格的に始動した。産後支援の充実策として、産後うつ病の早期発見のために、産後2週間目に保健師による電話相談を全員に行えないか。

健康推進部長 「出生連絡票」を早い段階に回収することで個々に電話での対応が可能。対応していく。

質問 全国的に高齢者ドライバーによる事故が後を絶たない。4月には本市においても衝撃的な事故が発生した。高齢者の運転事故防止と公共交通の利用促進のために、免許の自主返納者へ、公共交通に利用可能なICカードの提供ができないか。

市長 当市でも高齢免許保持者のうち返納者は少ない状況。返納を促進するためにも推進策は必要である。実施に向け、検討していく。

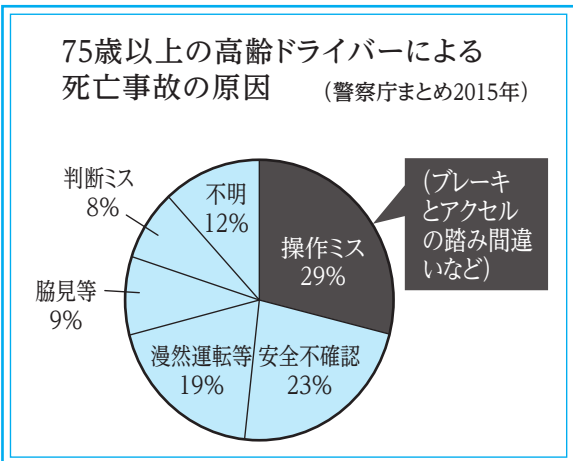
質問 三世代近居・同居支援については、一般質問で提案し当市の総合戦略の促進プロジェクトの一つに位置付けられた。計画から2年経過し、近隣4市はすでに事業が開始さ

れているが出遅れてしまった感はない。①今後の進め方②地域振興と新婚家庭への支援策に対する見解

市長 ①部長との推進会議で今後検討。②進め方を研究していく。

質問 図書館本館の地下駐車場はエレベーターが通じていない。①平置き第2駐車場の開館時の開放②地下までのエレベーター設置への見解

市長 ①開放に向けて早期実施。②大規模改修時に調整していく。



Question 13

LGBTに対する理解促進を

細田 智也議員

質問 LGBT当事者がどのような事に困っていると思うか。

市長 社会環境において常に生き辛さを感じ、不安や葛藤の中での生活を余儀無くされていることが最も辛い事であり、自己肯定感や自尊心が低下してしまうことが問題である。

質問 LGBT支援の可視化①研修を修了した職員や理解者の職員のレインボーバッジの着用を。②庁舎1階や健康福祉センター等にレインボー旗や冊子の設置を。③庁舎の椅子用トイレに「誰でもトイレ」の表示を。

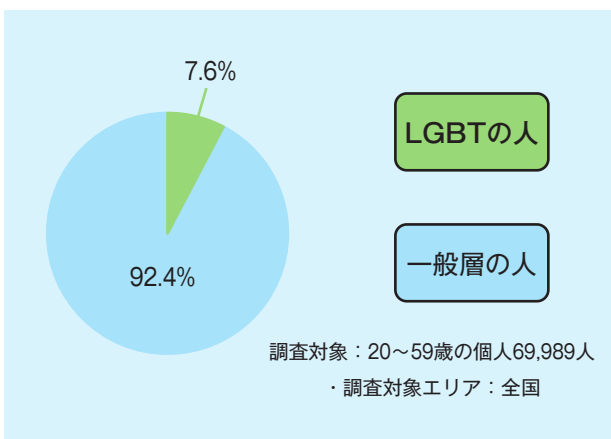
市長 ①今後、検討する。まずは、職員の理解を深める。②冊子は、県に確認しながら、設置を検討する。③早急に対応したい。

質問 LGBT当事者の意識調査結果によると、学校生活における「いじめ」は全体の約6割が経験しているとのある。LGBTといじめや自殺の関連をどのように考えているのか。

教育長 市教育委員会としても、重く受け止めなければいけない。教育センターには、臨床心理士等の配置をし、いじめ相談の対応の充実も図っている。

質問 学校における男女混合名簿の導入について。

教育長 導入は選択肢の一つとしてあって良いものと認識。導入に関する研究を進める。



参考【電通ダイバーシティ・ラボLGBT調査2015】

公共交通網再編・不老川洪水対策

松本 義明議員

質問 いよいよ来年1月から公共交通網の大幅な再編がされる。「ていーろーど」の再編及び新たに導入される12人乗りの小型ワゴン車「ていーワゴン」の概要は。

都市整備部長 「ていーろーど」は公共施設を結ぶ役割から、通勤、通学、買い物のに役割が変わる。「ていーワゴン」は東金子、金子、宮寺・二本木地区への導入に向け地元協議会で運行ルートを決定した。概ね300m間隔でバス停の設置、運行ルート上での自由降車、乗継券の発行、乗りこぼし対策としてタクシーによる後続便を検討している。

質問 公共交通の利便性向上に向けた更なる取り組みとして、近隣市との連携、企業や学校の送迎バス等の社会資源の活用を図るべきでは。

市長 広域連携に向け、特に狭山市との可能性を検討している。社会資源の活用は実現に向け努力する。

質問 不老川洪水対策として、今年度から6年間で約80億円を投入し集中整備を図る「不老川浸水対策特

別緊急事業」の概要は。
都市整備部長 ボトルネックとなっている4つの橋の架け替え工事と大森調節池の整備を行う。

質問 洪水被害をくい止めるための今後の見通しと更なる取り組みは。
市長 一日でも早く河道拡幅整備が完了するよう要望する。既存調節池の機能改善を行う。上流部の瑞穂町との協議を定期的に行う。防災訓練の機会を活用して啓発を図る。



「ていーろーど」と「路線バス」の乗り継ぎ 仏子駅

水道の広域化・博物館の学芸研究

宮岡 治郎議員

質問 市の水道事業について。①地理的な条件は。②自然流下式による配水の割合は。③近隣自治体との広域化等の実績と、将来への展望は。④広域化の利点は、大きいのでは。

上下水道部長 ①西側が高く東側が低く、加治丘陵等で南北に起伏が激しい。総配水量の約80%を占める県営水道の、送水の末端に在り、ポンプ加圧式が多い。②全体に対する割合は、平成28年度で、28・4%。

市長 ③合同防災訓練や、緊急連絡管の配水管相互の連結と災害時の活用がある。資機材の共同購入等は、近隣5市のブロックで協議している。④西武地区へ飯能市からの配水、黒須地区から狭山市鶴ノ木地区への配水、人間川の取水の、飯能市・狭山市との調整と安定化等が考えられる。

質問 『入間市博物館』について。①学芸員の分野別の研究成果は。②博物館への、社会的要望の変化は。③常設展示内容の、抜本的な更新は。
教育部長 ①郷土史では、高倉寺観音堂と田照寺板碑の研究が進展。自然史では、絶滅危惧種の植物の移

植保護も。狭山茶では、茶業史研究で全国的に最先端で、生産用具255点は国の登録有形民俗文化財に。
教育部長 ②二極化の傾向が強まり、より高度な学術レベルを求める層と、よりポピュラーで娯楽的要素を求める層とがある。③最新の調査研究成果を反映出来るよう、容易に展示替えの可能な躯体や仕様へのリニューアルが、最重要課題となっている。



博物館のホールに展示された、市内野田の「加治氏館」の模型



災害に強いまちづくり



宮寺 田中睦博(会社経営)

宮寺地区で生まれ育って72年が過ぎました。当時は、茶畑に囲まれたのどかな地域のひとつでした。だんだんと歳月が過ぎ、現在では近隣の子も達が元気な姿で登校するのを楽しみに宮寺地区を見守っております。

宮寺地区には不老川が流れており、平成28年8月に上陸した台風9号の大雨では、不老川周辺の住宅をはじめ宮寺地区全域が水害に見舞われました。私の人生の中で、はじめての経験であり、数百年に一度の大被害とのことでした。今後は地域のコミュニティで災害に強いまちづくりを推進していきたいと思っております。すぐに対応していただける地元消防団及び行政の皆様にご期待しております。

大きな声や事柄だけではなく、小さな声も届く宮寺地区になって欲しいと願います。



野田 新井敏夫(元銀行員) 博物館の講座『城館めぐり』

本講座は大変人気があり、定員30人の所、倍以上の申込があり、二部制にして対応したとの事である。

この講座前に、市博物館エントランスホールにて、『武蔵武士・加治氏の館と本拠』展があり、多くの人が見学したと思われる。

最初に加治氏の菩提寺・円照寺を訪れ国指定重要文化財六基を見た。中でも元弘三年五月二十二日の鎌倉幕府滅亡の日を刻み、自害した加治家貞の板碑が格調高く有名である。次に加治氏の館跡に向い、宅地開発されて昔の面影のない跡地と東側の段丘崖を見て回った。

近世以降、加治氏館跡には柏原鍛冶の末裔である新井一族が居住しており、江戸時代には新井家の本家が代々野田村の組頭を務めた。館跡の西側には、武芸の鍛錬や儀式を行う「馬場」と云う地名が残っている。以上史実の一部を記す。



公共施設の今後をともに考えます

いるま市 三二情報

入間市では公共施設マネジメント計画に基づき、市庁舎・市民会館・中央公民館は耐震化に伴って、市役所A・B棟は新築し、市民会館・中央公民館を新庁舎に複合化する計画を進めています。市役所の施設コンセプト「『交流と協働』～市民と行政のエネルギーを一つに！～市民どうし、市民と行政の交流と対話からまちづくりを始める場」に基づき、市民意見を把握し、計画に反映していきます。そのために市民ワークショップを設置し、意見交換を行います。メンバーは、アンケートで参加意向を示した方や、既存の市内団体の中から、市長が委嘱し、6～11月に4回行われます。その他の公共施設は、「公共施設最適化基本方針」に基づき、公民館、小中学校を9地区に1施設ずつ配置、公立保育所は、6地区に1施設ずつを基本に整備を進めます。既存団体の代表15名程度からなる地区懇談会を6～11月に4回開催して、意見交換を行います。



9月定例会日程案

- 8月30日(水) 開会
- 9月 4日(月) 総括質疑
- 9月 5日(火) 総括質疑
- 9月 6日(水) 総務常任委員会
- 9月 7日(木) 都市経済常任委員会
- 9月 8日(金) 福祉教育常任委員会
- 9月12日(火) 一般質問
- 9月13日(水) 一般質問
- 9月14日(木) 一般質問
- 9月21日(金) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせ下さい。
2964-1111 内線5112・5113

議会広報委員会

- ◎宮岡 治郎 ○松本 義明 小出 亘
- 末次 正 長谷川 渉 古仲 リカ
- 内村 忠久 細田 智也 野口 哲次

◎は委員長 ○は副委員長

